

Draw のレイヤーを活用して PDF フォームを作る

- Draw の特徴は？
- Draw と Calc や Writer との一番の違いは？
- どんな時に使うの？

Draw の特徴はレイヤー機能が使えること

レイヤーとは、もともと「層」を意味する単語で、「各種データが描かれた透明な板が何層も重なった状態」を指します。

レイヤー機能って何?? って方の為に一言で解説すると、アニメーションのセル画で使う透明なフィルムが何層にも重なったイメージになります。

透明なレイヤーをいくつも重ねて一つの画像を作成するイメージと言った方が判りやすいかもしれません。

レイヤーを活用して PDF フォームを作る

Draw の Draw たる使い方ではありませんが、PDF ファイルを画像としてレイヤーに貼り付け、別レイヤーにフォームオブジェクト(テキストボックスやリストボックス等)を貼り付け、最後に纏めて PDF フォームにエクスポートする方法を紹介します。

用途としては所定の様式をダウンロードしたが手書き入力したくない場合にオススメ

提出書類の様式をダウンロードしてみたが、PDF ファイルなので手書きしなければならないとき
紙書類をスキャンした PDF ファイルに入力フォームを付けて配布したいとき

要は、PDF でしか入手(出力)できないファイルに**同じ見た目を維持したまま**入力項目を付与したいとき
Word 形式で配布されている様式を Word で PDF に変換し、それを PDF フォームで配布したいとき

他のソフトではできないの？

Calc に貼り付けた画像を背景に設定して使っても同じような感覚で作業できますが、Draw のレイヤー毎に表示・非表示を切り替えたりする機能に比べると Calc の機能は見劣りします。

Calc で画像を背景に設定する方法は、ワークシート上で画像を選択し、右クリック→整列→背景へ で OK

また、背景に設定した画像を選択する際にはフォームコントロールの一番上にある白矢印をクリックした後、画像を選択すれば OK(画像をロックするわけではないので、オブジェクト配置がズれる場合があります)

PDF ファイルを直接読込する機能があるがオススメしない

Draw には PDF ファイルを直接読み込んでパーツ毎に表示して編集する機能があります。

PDF ファイルを編集可能な状態で読込し、編集後に PDF ファイルにエクスポートする事ができます。

PDF ファイルを直接読み込んで編集可能にすることやり方は便利なようですが、オススメしません。

それは、PDF ファイルのレイアウトや文字装飾が失われてしまうことがあるからです。

現在ある、PDF ファイルを AdobeReader で見た状態のまま、Draw に読み込むことはできないのです。(多少違って大丈夫な場合は大いに便利な機能なのですが・・・)

フォントが白抜きになったり等の文字装飾や細かなレイアウトなどが崩れ、ページからはみ出してしまったりする場合があります。

直接読み込む機能は、テキストボックスを配置して PDF フォームを作成するという目的よりも、現在の PDF ファイルの内容を加筆修正する場合を想定していたほうが目的に合致すると思います。

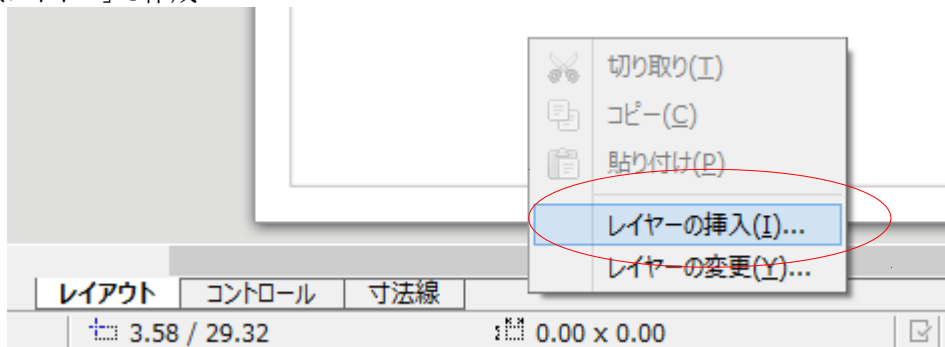
PDF ファイルを画像として Draw に貼りつける

おススメは

AdobeReader で PDF ファイルを表示し、AdobeReader のスナップショット機能を使って範囲コピー
その後、Draw のあらかじめ指定したレイヤーに画像として貼り付ける
という方法です。

それでは手順を確認しましょう

1. Draw を起動し、新規ファイルを作成します
2. レイヤータブ(レイアウト・コントロール・寸法線)の右隣りを右クリック⇒レイヤーの挿入⇒レイヤー名を「背景レイヤー」で作成



3. 対象の PDF ファイルを AdobeReader で表示
4. AdobeReader メニューの編集⇒スナップショット で入力されている文字から3ミリ程度の余白を残して範囲を指定します(ギリギリで切り取った方が PDF 出力時にキレイです)
5. 2で作成した Draw の「背景レイヤー」に4のスナップショットを貼り付けます
6. 5で貼り付けた画像を余白等を調整して配置します
7. 「背景レイヤー」タブを右クリックし、レイヤーの変更を選択します
8. レイヤーの変更ダイアログが表示されたら「ロックする(L)」にチェックを入れます(これで背景がロックされました)・・・ここで「表示しない」を選択すると背景画像が非表示になります
9. コントロールレイヤーを選択し、ツールバーのフォームコントロールからテキストボックス等のオブジェクトを配置します(背景レイヤーとは別のレイヤーで作業するところがポイントです)
10. 配置が完了したら、PDF としてエクスポートで PDF フォームを作成して作業終了です

※Draw を使うメリットはレイヤー機能を使って背景画像をロックすることができる点にあります

※複数ページの場合は、Draw メニュー→挿入→スライドで新規ページを作成して対応します

※4のスナップショットではなく、「ファイルをクリップボードにコピー」でも良いのですが、余白に至るまで広く選択されてしまい、画像のピントが甘くボケたような取り込み結果になることが多いので、おススメしません。